

令和5年度 学校評価書 (前期)

《学校教育目標》

心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

「共感」「規律」を基にした「自己決定力」

～全教育活動での「学美」を軸に～



学級の団結力を爆発させた応援合戦！



5月3日(水)
圧巻の学級パフォーマンスを披露して会場を盛り上げた
運動会



令和5年9月20日(水)
大館市立北陽中学校



6月14日(水) 思いを一つにした大北総体激励会！

令和5年度 学校評価一覧(前期)

学校名 (大館市立北陽中学校)

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開									
今年度の重点		教育目標：心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成 重点目標：「共感」「規律」を基にした「自己決定力」～全教育活動での「学美」を軸に～							
市教育 施策	学校 評価 項目	自己評価 A	学校運営 協議会評価	シート 担当	評価指標	担 当	実践課題	主な取組	自己評価B
人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	I 運営・展開	良好	良好	教頭	1 組織の活性化	教頭	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人材育成を兼ね備えた組織づくり	4
					2 地域の教育力の活用		(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学鍛(担)会による共通理解・共通実践の強化	
					3 適切な予算運用		(3) 情報発信と地域連携の推進	学校HPや学校報での情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	
	II 企画・調整	おおむね 良好	おおむね 良好	教務主任・ 研究主任	4 校務アジャストメント	企画部	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	目標実現に向けた教育活動展開のための予算配分の工夫と計画的な執行	4
					5 経営課題のクローズアップ		(5) 教育活動を支える見直しある提案、学校帳簿管理	先を見通した早めの全体計画・予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理	
					3		(6) 組織を活用した学校行事の企画	校務部や学年部と連携し、心を育てる行事の企画	
							(7) 「深い学び」の共通理解と具体的実践	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践	
	III 主体的学習 態度・基本的 学習習慣	おおむね 良好	おおむね 良好	学習指導部長	6 「学びかた」の指導	学習指導部	(8) 全教育活動での「学美」の充実	教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	3
					7 確かな学力		(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	
					(10) 授業の充実		(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり	
	IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣	良好	良好	生徒指導部長	8 規律ある学校生活	生徒指導部	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り	3
					9 心身の健康の保持増進		(12) 安心・安全で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実	
					10 教育相談の充実		(13) 健康的な生活習慣の育成	危機回避能力育成と事故防止対策	
					(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解		(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	安定した生活習慣と感染症予防対策	
	V 思いやりの心、たくましい心	良好	良好	特活指導部長	11 より良い集団生活を目指す学級・学年活動	特活指導部	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4
					12 集団力を高める自主的・自立的諸活動		(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	
					(17) 仲間と心をつなにし、目標に向かう「挑みかた」の指導		(17) 仲間と心をつなにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け	

V 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 運営・展開

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会のコメント
「ゆるぎない学校の創造」へ、旅路をともに歩む職員集団「チーム北陽」が機能している。保護者・地域とのつながりを強化し、地域で鍛える振舞いの実践が行われている。	前期 良好	良好	これだけの職員数であるが、主任会や指導部長会、学級(担)会などの実施により、職員間の縦横の連携がとれ、組織が機能している。主任会等の会議を放課後帯ではなく、ランチミーティングの形で勤務時間内に設定できていること、職員の年齢層の幅が大きい、実践すべきことの共通理解を図ったり、悩みを相談したりできる機会が設定されていることが評価できる。
自己評価の概要と学校の改善策	年度		
	<p>(1)(2)について:教職員の指導力・専門性を高める人財育成・組織づくりとして、今年度は勤務評価面談の他に研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する面談も行っている。職員が自らの研修ニーズと自分の強みや弱みを把握し、今後伸ばすべき能力や学校で果たすべき役割等を踏まえながら、主体的に学びながら職務を進めていこうとする意識をもてるようにしている。主任会や指導部長会、学級(担)会を、月行事に入れて計画し、各担当が見通しをもって会に参加できるようにしている。学校運営組織の核となる指導部長や各学年主任が情報を共有し、同一歩調で各分掌の仕事を進めることができた。また、学級(担)会も行うことで、学年の枠を超えて各学級担任同士が連携できるようにしている。今後は、情報共有だけにとどまらず、学校教育目標の具現化のために、どんな方向性で何をどのように取り組んでいくのかを話題にして、さらに充実した会の運営の仕方を工夫していく。</p> <p>(3)について:保護者、教職員アンケートの数値がわずかに減少している。学校報については、今年度から全戸配布から地域回覧・掲示に切り替えたが大きな混乱はなく、スムーズに移行することができた。地域活動推進については、地域防災活動の意義や地域とのつながりの大切さを共通理解した上で計画し、行うことができた。また、釈迦内地区防災学習会に97名の生徒が参加し、地域の方たちと関わり合いながら主体的に学ぶ姿が見られた。</p> <p>(1)(3)ともに、保護者アンケートの数値が3.2、3.5と低く、今後も学校報や学年報などを通じて地域活動推進の意義や成果を保護者に周知して理解を深めたい。</p> <p>(4)について:市費による物品購入や修繕について、計画的に予算を請求して獲得し、適切に執行している。私費会計も、昨年度の実績や生徒の実情に応じて予算を配分して執行している。いずれも教育活動の効果を高めているという教職員の実感がある。会計処理については、昨年度末のPTA役員による監査結果を踏まえ、学校事務担当者を中心として適正に処理している。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織の活性化	(1) チーム北陽の在り方	教職員の指導力・専門性を高めるための人財育成・組織づくり	4	
	(2) 校務部及び学年部の効果的な連携	指導部長会、主任会、学級(担)会による共通理解・共通実践の強化		
2 地域の教育力の活用	(3) 情報発信と地域活動の推進	学校HPや学校報による情報発信と地域活動推進による地域とのつながりの強化	4	
3 適切な予算運用	(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理	教育活動の成果を高める予算配分・予算獲得と計画的な執行	4	

[1に関連するデータ]

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員
 【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分

(1) チーム北陽の在り方

- 本校教育目標「心打つ振舞いで自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」の達成度は現在のところどれくらいと感じているか。
- 教職員の指導力・専門性を高めるための人財育成を兼ね備えた組織づくりが行われているか。

R5前期	R4前期	増減
3.2	3.3	- 0.1
4.2	3.6	+ 0.6

(2) 校務部及び学年部の効果的な連携

- 指導部長会、主任会、学級(担)会が共通理解・共通実践の強化につながっているか。(R5 学級(担)会追加)

R5前期	R4前期	増減
4.2	4	+ 0.2

[2に関連するデータ]

(3) 諸通信の発行と地域活動の推進

- 学校報の地域回覧・掲示や学校HPの更新、防災活動などの地域活動によって、地域とのつながりが深まっていると思うか。(R5 HP追加)
- 学校報地域回覧・掲示や学校HPの更新、防災活動などの地域活動によって地域とのつながりが強化されていると感じるか。(R5 HP追加)
- 学校報や学校HPでの情報発信による情報発信と地域活動推進によって地域とのつながりが強化されているか。(R5 HP追加)

R5前期	R4前期	増減
4.0	4	± 0.0
3.5	3.6	- 0.1
4.4	4.5	- 0.1

[3に関連するデータ]

(4) 計画的な予算執行と適正な会計管理

- 予算配分・予算獲得と計画的な執行により、教育活動の成果が高まっているか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4.2	± 0.0

ア 学校運営の状況

II 企画・調整

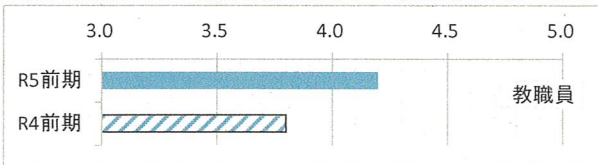
学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会のコメント	
生徒の振舞いを鍛えて「心」を動かす創造的な企画がされ、実態に応じた調整が図られている。	前期	おおむね良好	良好	全体的に見ると、良好とも判断できたが、学美ツアーの成果が評価書の内容からは見えなかったため、おおむね良好という評価になった。様々な計画の早めの提案、ミニ研修会、学美ツアーは良いアイデアなので、今後の取組の成果を期待している。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	(5)について：昨年度前期より数値が上がっている。定期的なランチミーティングや週案の早めの提案などを通して、多くの先生方が日々の活動や行事に対して見通しをもつことができたのではないかと考えられる。後期も継続し、先を見通した提案を行っていく。 (6)について：新しい試みとして、生徒が行事のねらいや目指す姿を共有できる全校集会を行った。校務部や学年部と連携することで、生徒の意識を高める取組ができている。保護者は昨年度の学年と比較すると評価が上がっている。通信やブログ等で子どもの頑張る姿や成長していく姿を発信していることが、少しずつ保護者にも伝わってきている。今後も通信による発信や、行事に足を運んでもらえるような内容を生徒と共に考えていく。 (7)について：4月に、生徒を生き生きさせている教師の実際の授業を全職員で参観する機会を設けたことで、北陽の授業スタイルや見方・考え方等を考えるきっかけづくりができた。普段は個々の取組に任せているため、今後は疑問や悩みについて気軽に相談できるミニ研修会を適宜設けていく。 (8)について：7回の指定訪問、その他の視察、教育交流等、今年度も研修する機会に恵まれている。教科や学年関係なく全職員で事前・事後の研修を重ねていく。また、今年度は、教師間だけでなく、生徒間の学美ツアーの充実も目指している。一学期は学級や学年の枠を超えて、運動会までの活動、定期テストに向けた学習計画の授業等を見合った。今後は、各教科の授業とその他の教育活動の往還を意識して、学美ツアーを実施していく。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 校務アジャストメント	(5)教育活動を支える見通しある提案、学校帳簿管理 (6)心を動かす学校行事の工夫	先を見通した早めの全体計画と予定の提示、学校諸帳簿の正確な作成と適切な管理 各校務部・各学年部と連携し、心を育てる行事の企画	4	
5 経営課題のクローズアップ	(7)「深い学び」の共通理解と具体的実践 (8)全教育活動での「学美」の充実	教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践 教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアー	3	

○学校評価アンケートの数値から (○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価[5:大変よい~3:おおむねよい~1:不十分]

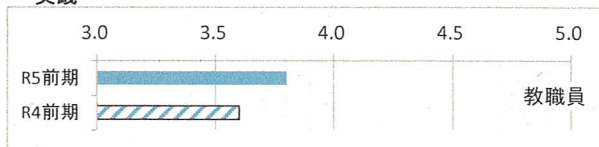
[4(5)に関連するデータ]

■教育活動を支える見通しある提案、学校諸帳簿作成・管理



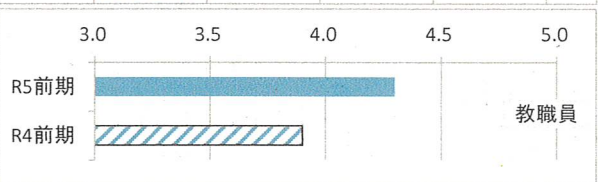
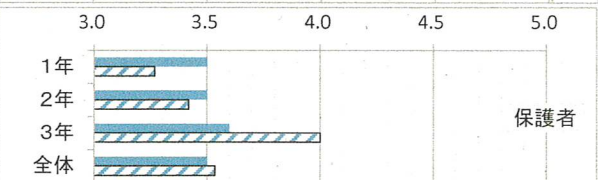
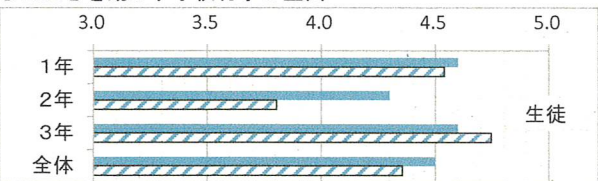
[5(7)に関連するデータ]

■教科の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせた授業実践



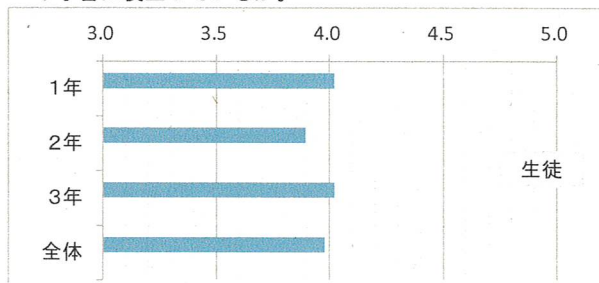
[4(6)に関連するデータ] 上段:前期 下段:R4前期

○□心を動かす学校行事の企画

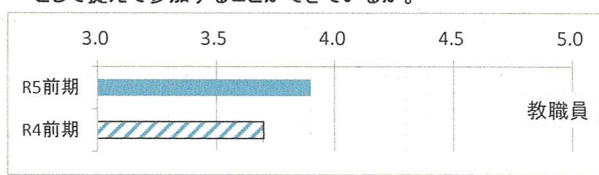


[5(8)に関連するデータ]

○学校行事や授業等で学美ツアーが行われ、自分の学校生活や学習に役立っているか。



■教科や学年の枠を超えた研修、学美ツアーが計画され、自分事として捉えて参加することができるか。



イ 生徒の状況

Ⅲ 主体的学習態度 基本的学習習慣			
学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会のコメント
生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付ける「学びかた」の指導に努めている。	前期	おおむね良好	先生方のよりよい授業を創り上げようとする姿勢に統一感を感じた。授業参観では、北陽中生の学びに向かう姿勢がきちんとできていた。教職員へのヒアリングでは、生徒の興味関心を高める手立てを講じることができているが、確かな学力の定着に向けた手立てに課題があると捉えている。教職員の学力保障への意識が高く、良好に非常に近いおおむね良好という評価とした。
	年度		
自己評価の概要と学校の改善策	(9)について：年度当初に「学習の約束」を共通理解するとともに、授業で学んだ事柄と学校や地域の行事との往還を、日頃から先生方が意識して指導していることが、生徒の数値に反映されていると考える。こうした「学びの往還」を今後も図ることができるよう、学習委員会を活用して家庭学習の充実を試みたり、短学活で効果的な学習の仕方を紹介し合ったりするなど、自分事として考える機会を適宜設定していく。		
	(10)について：50分ものさしで授業の見通しをもたせ、生徒の疑問や気付きを生かした授業づくりを心掛けてきた。また、個で考える時間や話し合う形態(ペア・グループ・全体)、習熟度別コースを生徒にさせるなど、自ら学びに向かう仕掛けも随時行ってきた。今後は、授業で学んだことを確かな学力として定着させるために、学習課題の吟味や習得した内容を確かめられるまとめの方法など、日々の実践の精度を高めるとともに、年度末までに育てたい生徒の姿を見通して計画的に指導していきたい。		
	(11)について：各教科の特性に応じた振り返りを行い、次時の授業で紹介するなど個々の学びを認めたり全体に広めたりする取組をしてきた。今後は、まとめや振り返りが適切に実施されているか学習指導部を中心に定期的に情報交換していく。また、教室間に掲示しているノート紹介コーナーに、振り返りカードを掲示するなど、よりよいまとめや振り返りを生徒間で共有できる機会も設定していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 「学びかた」の指導	(9) 主体的学習態度の育成	学ぶ意義や目的を生徒に自覚させる手立ての工夫	3	
7 確かな学力	(10) 授業の充実	共感と規律をベースにした授業づくり 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け	3	
	(11) 学びとキャリア発達	学習の定着を図るまとめとキャリア発達につなげる振り返り		

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価 [5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分]

[6に関連するデータ]

(9) 主体的学習態度の育成

○学ぶ意義や必要性を理解して、自らが学びに向かっていますか。(9教科平均)
□一人一人に応じた家庭学習の仕方を助言したり、放課後のドリル学習の内容や方法を工夫したりするなど、お子さんは主体的に学習に取り組んでいると感じますか。
■学ぶ意義や必要性を明確にし、生徒自らが学びに向かう仕掛けづくりがなされているか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4.1	+0.1
3.2	3.1	+0.1
3.6	3.6	±0.0

[7に関連するデータ]

(10) 授業の充実 共感と規律をベースにした授業づくり

○授業では、「共感」と「規律」が大事にされ、「自己決定の場」が設定されていますか。(9教科平均)
■共感と規律をベースにした授業づくりができたか。

R5前期	R4前期	増減
4.4		
3.8	3.6	+0.2

(10) 授業の充実 生徒の「？」疑問や「！」気付きを引き出す仕掛け

○学びが深まる疑問や驚き、気付きがありますか。(9教科平均)
○生徒の問いや疑問が授業に生かされていると感じますか。(9教科平均)
□授業では、お子さんの「疑問」や「気付き」を引き出す工夫がされ、力が付いていると感じますか。
■生徒の「？」疑問や「！」驚き、気付きを引き出す仕掛けを工夫することができたか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4.0	+0.2
4.3	4.1	+0.2
3.3	3.2	+0.1
3.7	3.3	+0.4

(11) 学びとキャリア発達

○まとめと振り返りが実施されていますか。(9教科平均)
■学びの定着を図るまとめとキャリア発達を促す振り返りがなされているか。

R5前期	R4前期	増減
4.4	4.1	+0.3
3.5	3.4	+0.1

イ 生徒の状況

IV 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、安全・安心な生活、健全な日常を実現する「暮らしかた」の指導に努めている。	前期 良好	良好	校内では、生徒が自主的な生活・活動ができています。保護者へのヒアリングでは、家庭学習に向かう姿勢ができていないという声が聞かれた。小学校運動会ボランティアや子どもハローワークへの積極的な参加により、北陽中生の鍛えてきている振舞いが地域の中で発揮され、評価されている。学校生活と地域貢献活動との往還が子ども姿となって現れてきている。
自己評価の概要と学校の改善策	(12)について:1学期末に、生活向上委員会がアンケート(下記①参照)を実施し、学校生活を振り返った。きまりを守れていないことやルールが曖昧であることなどの回答があった。2学期以降は生徒同士によるきまりの見直しを行ったり、学校のルールについて生徒自身が気づき考えたりできるように仕掛けていきたい。危機回避能力育成と事故防止対策については、避難訓練や地域防災会議(下記②参照)などを通して防災への意識付けを図ってきた。災害だけでなく、交通ルールを遵守した自転車の乗り方やヘルメット着用、熊対策など毎日の登下校についても、生徒が安心・安全に生活できるよう集会等で呼び掛けを行い、継続して指導していきたい。		
	(13)について:新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、マスク着用など対策は個人の判断となった。保健委員会が感染対策ポスター(下記③参照)を掲示したり、昼の放送で全校に呼び掛けをしたりするなど、生徒が主体的に活動できるよう教師がサポート側に回って働きかけた。また、6月にメディアに関する実態調査を行い、メディアコントロールへの意識付けを図った。家庭への働きかけはもちろんのこと、生徒が自らの生活習慣を見直し自分を律していけるよう、今後も粘り強く指導していきたい。		
	(14)について:今年度も5月に教育相談(下記④参照)を実施し、生徒理解に努めた。7月に行われた指定訪問研究会(下記⑤参照)では、生徒の安全・安心な生活を指す手立てについては、全職員で理解を深めることができた。今後も未然防止や早期発見に向けて、日頃から小さなサインを見逃さないことや些細なことでも全職員で共有できるように組織的に対応していきたい。また校内だけでなく、チーム学校として関係機関と連携しながら、一人たりとも置き去りにしない教育を目指していきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 規律ある学校生活	(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導	生徒による「暮らしかた」の見直しと充実 危機回避能力育成と事故防止対策	3	
9 心身の健康の保持増進	(13) 健全な生活習慣の育成	安定した生活習慣と感染症予防対策	4	
10 教育相談の充実	(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解	多面的な生徒理解と組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくり	4	

(○生徒 □保護者 ■教職員)

【8に関連するデータ】

※5段階評価【5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分】

(12) 安全・安心で、規律ある集団の「暮らしかた」の指導

- 北陽中生自身が「暮らしかた」を見直し、規律ある学校生活の充実がはかられていますか。
- 災害や事故から身を守り、自分の命を自分で守る力が身に付いていますか。
- 安心・安全な生活のための事故防止対策が取られ、お子さんに危機回避能力が育っていると感じますか。
- 生徒によって「暮らしかた」が見直され充実が図られているか。
- 安心・安全な生活のために、生徒の危機回避能力を育成し、事故防止対策が取られているか。

R5前期	R4前期	増減
4.0	3.8	+ 0.2
4.2	4.2	± 0.0
3.6	3.8	- 0.2
3.8	3.6	+ 0.2
4.1	4.1	± 0.0

【9に関連するデータ】

(13) 健全な生活習慣の育成

- 感染症予防対策を実行し、望ましい生活習慣が身に付いていますか。
- 学校で感染症予防対策が取られ、お子さんに安定した生活習慣が身に付いていると感じますか。
- 健全な生活習慣の育成のために安定した生活習慣の確立と、感染症予防対策が取られているか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4.1	+ 0.1
3.9	4.0	- 0.1
4.1	4.3	- 0.2

【10に関連するデータ】

(14) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解

- 教育相談やカウンセリングなどで、先生は親身になって対応してくれますか。
- 多面的な生徒理解と、組織的かつ効果的な教育相談の研修と体制づくりがなされているか。

R5前期	R4前期	増減
4.4	4.2	+ 0.2
4.0	3.9	+ 0.1

①生活見直しアンケート(上) ②地域防災会議(下)

自分	振舞いの動きが少し遅いと思ふ。その為、2学期は振舞いを見直し、速くしたい。
クラス	反応は速い方だが、中には遅い動きの子も居る。速く動けるように指導したい。
学校全体	規律ある、口調の整った声で話していると思ふ。その為、話し合いの場を増やして、話し合いの場を増やしたい。
自分	体育の時間も長いので、長年体育の授業を受けているので、体育の授業が大好きです。
クラス	やはり体育の時間が、先生に教わることが多く、楽しんでいます。



③感染対策ポスター

R5年度の感染対策

By 北陽中学校保健委員会

・体調不良の時は無理せずお家で休みましょう。

・マスクの着用は個人の判断となりますが、念のため持ち歩くようにしましょう。

・その他の感染対策はこれまでどおりお願いします。(換気や手洗い、規則正しい生活、ソーシャルディスタンスなど)

旗の色の見方 (感染防止対策の進捗にしてください)

(保健委員会が校内の様子や地域の状況を確認し、進捗に旗を掲げます)

- 通常
- 校内での体調不良者が増えている
- 校内での体調不良者が増えている (旗掲げアラート発令の緊急事態)

④教育相談アンケート(上) ⑤指定訪問研究会(下)

1. 学習について悩んでいることや、困っていることお答えください。(※お答えの目安は5点(5が最もよい)です)	① 5教科(国・算・英・社)のこと ② 授業科目(音楽・体育・家庭)のこと ③ 宿題のこと ④ 家庭学習習慣のこと ⑤ 部活動の関与 ⑥ 成績が伸びない ⑦ 勉強の進捗のこと ⑧ その他() ⑨ 困っていることはいない
2. 生活について悩んでいることや、困っていることお答えください。(※お答えの目安は5点(5が最もよい)です)	① 友達のこと ② 先輩・後輩のこと ③ 先生のこと ④ 部活動のこと ⑤ 委員会のこと ⑥ 行事のこと ⑦ 部活のこと ⑧ 人との関わり ⑨ その他() ⑩ 困っていることはいない
3. 身体や健康について悩んでいることや、困っていることお答えください。	① 病気やけがのこと ② 体調が悪いこと ③ 朝起きられないこと ④ 食事が出ない ⑤ 体形や体型のこと ⑥ その他() ⑦ 困っていることはいない
4. 進路について悩んでいることや、困っていることお答えください。	① 大学のこと ② 就職・進学のこと ③ 進路希望のこと ④ 親戚のこと ⑤ 将来のこと ⑥ その他() ⑦ 困っていることはいない
5. 教育相談やアンケートの活用についてお答えください。	① 教育相談の活用を持っている ② ルールを決めている ③ LINEを活用している ④ その他() ⑤ 当てはまることはない



イ 生徒の状況

V 思いやりの心、たくましい心

学校の状況		自己評価A	学校運営協議会評価	学校運営協議会のコメント
居心地のよい集団を実現する「集いかた」の指導、仲間と心をつにし、目標に立ち向かう「挑みかた」の指導に努めている。	前期	良好	良好	集団としての振舞いは北陽中一番の強みである。様々な学校行事での一体感や協働性は評価できる。アンケートの結果から、生徒たち自身も高く評価しているのが見える。今後も、北陽中祭や嘉手納町交流などの学校行事を通して、さらに集団としての振舞いを鍛えていってほしい。
	年度			
自己評価の概要と学校の改善策	<p>(15)について:学級の短学活で日直がスピーチをし、それに対して質問や反応したり、学年で班対抗のクイズをしたりして、個のよさを発揮したり、互いに認め合ったりすることができる場面を設定している。学級活動における話し合い活動においても、互いに自分の考えを発表し合う中で、互いの考えを尊重し合いながらよりよい考えにしていこうとする姿が見られる。今後は学校行事や授業など他の教育活動においても往還を意識し、学級活動で培われた個のよさを存分に発揮できる場や互いのよさを認め合う場面を意図的に設定していきたい。</p> <p>(16)について:委員会などの生徒会活動を全体的に見ると生徒それぞれが創意工夫を凝らし、それを教師がサポートする形で行うことができていた。その反面、活動に積極的に取り組む生徒とそうでない生徒との差が大きいことが課題であった。生徒の主体的な活動を促すために、活動の目的や意義を再確認するとともに、活動をやり遂げたときの達成感や成就感を味わわせるように、北陽中祭等の学校行事での活動の機会を利用して生徒に仕掛けてい。</p> <p>(17)について:運動会では、事前に決起集会を行った。「生徒に主体性をもたせること」、「生徒も職員も活動に見通しをもつこと」という2つのねらいをもとに計画した。その結果、各学級の中で上手に役割分担がなされ、各リーダーを中心に全力で取り組む姿が見られ、活動後の達成感や充実感も大きかった。2学期の合唱コンクールや北陽中祭に向けても、生徒の意欲を喚起し、ねらいを共通理解するための集会を行い、夏休み中から準備に取り</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 より良い集団生活をを目指す学級・学年活動	(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり	共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動の実践	4	
12 集団力を高める自主的・自立的諸活動	(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実	学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動	4	
	(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導	三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛け		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

[11に関連するデータ] ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:おおむねよい 2:やや不十分 1:不十分}

(15) 個のよさが発揮される学級・学年づくり

- 個のよさが発揮され、仲間と協働して取り組めるような学級活動が行われていましたか。
- 共感的協働性を発揮できる創意ある学級活動が実践されていたか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4	+0.2
3.9	3.6	+0.3

[12に関連するデータ]

(16) 創意に満ちた生徒会活動の充実

- 集団力を高めるような、創意ある生徒会活動が行われていましたか。
- 生徒会活動は、集団力を高めるような創意ある活動になっていますか。
- 学校経営の一翼を担う、創意に満ちた生徒会活動が行われているか。

R5前期	R4前期	増減
4.2	4	+0.2
3.9	4	-0.1
3.7	3.8	-0.1

(17) 仲間と心をつにし、目標に向かう「挑みかた」の指導

- 運動会では、仲間と心をつにして目標に向かって取り組み、感動や達成感を味わえましたか。
- 学校行事では、生徒の目の色を変える仕掛けがなされ、心を育てる工夫がされていますか。
- 三大行事に対する、生徒の目の色を変える仕掛けがなされているか。

R5前期	R4前期	増減
4.5	4.4	+0.1
3.5	3.5	±0.0
4.2	4.1	+0.1



運動会の話合い～先輩が1年生にアドバイス～



1年生を温かく迎えた新入生歓迎会



北陽魂を発揮することを誓い合った激励会



吹奏楽部と学芸部による応援ツアー